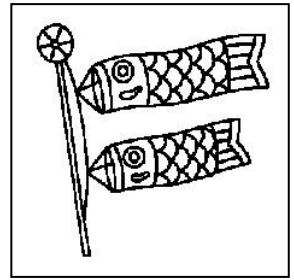


2014年春号

ぷらう 50号



発行：TEACCH プログラム研究会

<会長のつぶやき>

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

ぷらうが50号を迎えました。記念すべき50号が発行されることを会員の皆様と一緒に祝いします。これまで、ぷらうの発行に携わってこられた会員の方々に深く御礼します。

TEACCH プログラム研究会が発足したのは1989年（平成元年）であるから、本会の歴史は四半世紀に及ぶこととなります。発足当時はTEACCHを知っている人はほとんどいなかったと思う。原稿にTEACCHと書くとTEACHと修正されることも良くあり、そのたびに説明が必要であった。25年間で状況はかなり変わった。自閉症スペクトラム障害の領域では、良くも悪くもTEACCHが話題になることは日常的になりました。

日本において自閉症支援を推進する上で本会は、かなり重要な役割を果たしてきたのではないかと思います。

ホームページにも掲載しているように本会の理念は

- ・TEACCHに学び、自閉症の人たちの文化を大切にしながら手をつなごう。
- ・同じように、彼らをサポートする人たちも、互いを尊重しながら手をつなごう。
- ・他の政治的要素等をネットワーク内に持ち込まないようにしよう。
- ・できないと最初からあきらめず、身の回りのできることから始めよう。

25年前の決意ですが、現在も私たちは同じことを考え、実践しています。

25年間というの長い年月です。多くの変化がありました。ショプラー先生が物故され、メジボフ先生はTEACCHのディレクターを辞められました。TEACCHの、それぞれに文字が示す文言も変わりました。例えば最初のTはtreatmentからteachingに変わりました。TEACCH部でも、日本でも25年前は支援の中心は比較的重度の自閉症の子どもでしたが、現在は、高機能例や成人例に比率も増えており、自閉症スペクトラム障害という用語もごく一般的になりました。自閉症支援の世界全体の中でもTEACCH部の位置づけは変わってきたように思います。TEACCH部の運営やプログラムも多くの変化があるようです。

本会の役割や実際の活動内容は今後も少しずつ変化していくことでしょうし、変化しなければならぬと思います。しかし、「TEACCHに学び、自閉症の人たちの文化を大切にしながら手をつなごう」「同じように、彼らをサポートする人たちも、互いを尊重しながら手をつなごう」という本会の基本理念は今後も大事にしていきたいと思っています。

<TEACCH コラボレーションセミナー2014 を終えて>

講師招へい事業担当理事 村松陽子

コラボレーションセミナーが終わって1ヶ月以上経ちましたが、今回のセミナーはこれまで以上に強いインパクトを私たちに与えてくれたように思います。

「性～セクシュアリティ～」をテーマにしようと理事会で決定し、2010年に素晴らしい講義で私たちに感銘を与えてくださったバーガディン先生に再び講師をお願いすることになりました。このテーマはこれまであまり取り上げられておらず、どんなお話が聴けるのかと、とても期待していましたが、結果は予想を超えるものになりました。

講義では、まず自閉症スペクトラムの人たちの性に関する実態についてのデータを提示した上で、支援の基本方針を明確に示してくださいました。その上で非常に多くの具体的な支援例を教えてください、明日からでも始めてみたいと思わせる内容でした。これまでなんとなくもやもやしていた霧が一気に晴れたような気分になりました。

2日目は実践報告とディスカッション。報告された4つの事例は、それぞれに素晴らしく、日本の実践もここまで進んだのかと感慨深く聞かせていただきました。また、1日目のバーガディン先生の講義について、事前には全く知らされていなかったにもかかわらず、考え方や内容がぴったり一致していたのには驚きました。バーガディン先生も何度も絶賛され、どうやって発表者を選んだのかと尋ねてられ、TEACCH 研の支部の底力を誇りに思いました。

今回の運営にあたっては、京都支部と滋賀支部に加えて大阪支部のメンバーの協力を得ることができました。毎回ですが、縁の下で支えていただける皆様に感謝です。会員の総力を合わせて素晴らしいセミナーが開催できたことに感謝です。次はどんなセミナーにするのか、もうすぐ準備に入ります。ご希望やご意見がありましたら、支部のほうにお届けください。

<コラボレーションセミナーに参加して>

佐賀支部 黒木 あさ美

今まで性に関する教育と言えば、大人に向けての男女の身体のしくみや変化についてというイメージが強く、学校の保健の授業で学んだことも、漠然とした形でしか印象に残っていませんでした。私たちは、その漠然とした知識の中でも、家族などの大人や周囲の友達、TV や雑誌といった様々な情報の中から自然と大人への心と体の変化に対する対応方法を学んでいます。しかし、バーガディン先生のご講演で、自閉症スペクトラムの方たちの学習様式や思考などの様々な特性を考えると、1つ1つを具体的に伝えること、そして視覚的な情報に強く、ルールを知るとききちんと守ろうとするといった強みを生かして、適切に情報提供を行うことで、これほどまで自閉症スペクトラムの方の生活がより豊かで愛に満ち溢れたものになるのかということ、具体的な事例とともにお話をいただき、とても感激いたしました。相手との関わり方が重要であるとともに、自分自身を大切にすることも重要である、ということをおっしゃっていたこともとても印象に残っています。

セクシュアリティに関することというのは、日本では表だってディスカッションするのをさけてしまいがちになりますが、人が成長するにあたり必ず通るとても重要なものです。実践報告とディスカッションの機会を通し、伝える側ももっと性に関して学んでいかなければならないと改めて感じました。セクシュアリティについて考えたり、学んだりする機会というのはまだまだ少ないのが現状です。ぜひ、またバーガディン先生のお話をお聞きしたいと思います。今回は、貴重なお話を聞くとともに、実践報告とディスカッションの機会をいただきどうもありがとうございました。

＜コラボレーションセミナーからの第一歩＞

東京支部 吉村 奈津江

「性教育ってどうすればいいのだろう」と悩んで実践している私にとって、コラボレーションセミナーは、「救いの手」でした。学校の仲間たちと共に考えて進めてきた指導・支援に対してアドバイスの機会をいただけたことに感謝しています。性器の露出に対する支援の中でまず二次性徴を保護者と共に喜ぶこと、問題行動だけに目を向けず生活全般を見直すこと、自分で選択できる場面とできない場面を設定すること、本人の理解度や状況に応じて個別に取り組むこと、これまでの支援の方向性は間違っていなかったことに安心しました。支援の中で大切にしてきた、保護者との協働、周囲の関係機関との情報共有も継続していきたいと思います。また、性行動があるときは、心身が緊張していることも多く、発散する方法として運動することや家族以外と関わるコミュニケーション手段を持つことが重要であることを教わりました。

今回の参加で「セクシャリティ」についての認識が変わりました。どうしても性行動、性行為ととらえてしまいがちだった私ですが、思考、感情、行動、関係性、身体的・精神的健康に影響を与えるものであり、生活する上で重要であることを改めて感じました。「一人一人価値観が違う」と簡単に言えますが、本人、家族、支援者の価値観だけでなく、社会や習慣、宗教など様々なことも考慮することを学びました。そして今重要なことを見極め、優先順位をつけて支援することが必要です。「もっと広い視野を持ち、心にゆとりをもって支援したいなあ」と強く感じました。

学校において「セクシャリティスキルを身につけるにはどうするか」を考えたとき、まずは実践が大切だと思います。「正しい行動を教えなければ学べない」ASDの児童生徒をそのままにしておいてはいけません。でもどうやって実践したらいいのか不安な現場において、チームで学び合い、計画、教材・教具を作成し、実践、修正をしていくことが近道だと思います。先日、同じ学校の12名の同僚たちと「セクシャリティ・サロン」を開催しました。それぞれの課題を伝え合い共有することから始まりました。支援者である私たちが緊張（問題行動ばかりに目を向けること）せず、心にゆとりを持って考えていくことがよい実践となることを確認し合い、次回につなげます。コラボレーションセミナーからの第一歩を踏み出しました！！本人や家族の気持ちに寄り添いながら具体的な支援を実施すること、学校の仲間と共に意見やアイデアを出し合いながらASDの児童生徒一人一人に合った方略をたてることを目標にしたいと思います。

＜TEACCH コラボレーションセミナーでの実践報告・感想＞

神奈川支部 高田 麻里

16日、楽屋へ伺うとスタッフの方が笑顔で迎え入れてくださいました。準備、打ち合わせとトントン拍子で進み、あっという間にお一人目の方の発表時間となりました。

他の発表者さんのすごく落ち着いた発表の様子と取り組みの素晴らしさに“大丈夫なのか、私？”と不安に陥りました。

でも、準備してきたことを発表することしか出来ない、と開き直り楽屋へ。準備をしていると諏訪先生が「緊張してる？そうだよ。でも、楽しんで！」とニッコリ微笑んで声をかけてくださいました。“楽しめるかな…？”と思いながら自己紹介をし、柴犬のスライドを表示した時、会場からのかすかな笑いをキャッチ！あの瞬間から自分を取り戻し、時間内に終わらせることとスライドに載せられなかったエピソードや情報を伝えることに集中して話すことが出来ました。早口で何を話しているか聞き取れなかった方もいらっしやっただけで反省の思いは多々ありますが、これが私の精一杯なので致し方なしとも思っております。

質疑応答の際、「警戒心が強すぎる娘への支援は？」と神奈川のお父様から質問があり、きちんとお答えすることが出来ず申し訳なく思います。でもお嬢さんが“バットを持ち歩かなくなった”

という事実は、安心できる人間関係の構築が成されたからであって、これがご両親だけでなく支援者、信頼できる仲間、と少しずつ広がっていくと過剰な警戒心が少しずつ緩まってくるのではないかと感じました。

バーガディン先生が「一人ひとり、支援は異なる」と繰り返しおっしゃられていましたが本当にその通りだと感じています。今回発表させていただいた、母と支援者の工夫や知恵をまとめた冊子の内容は本当に一握りの知恵袋で、もっともっと様々な角度からの女子支援が研究や工夫されると、ヒントを得られる方がもっと増え、個々にカスタマイズした支援を作り出し、より良いサポートが実現されるのだろうな…と強く思いました。とても勉強になったセミナーでした。参加させていただいたことに深く感謝しております。

＜コラボレーションセミナー感想＞

北海道支部 岩田 昌子

早いもので京都でのコラボレーションセミナーから1か月が経ちました。

京都での2日間がまるで夢物語だったかのように日々は過ぎ去っているのですが、マリー・バーガディン博士初め、4名のシンポジストの皆さまの発表を胸に日々支援に励んでいます。

正直、4名のシンポジストの皆さまの発表を聞いた際には、同じくらいの年齢の人たちがこんなにすごい支援を行っているんだ、と感銘を受け、そのことが今の私の学びの意欲にそのまま繋がっています。

今回、私がセミナーに参加したのは、現在私の現場でもセクシャリティの領域で支援が必要な対象者を支援しているからでした。対象者は19歳の男性で今年の12月から当施設を利用しています。彼は知的にはハンディが無いものの、複雑な家庭環境や緊張を強いられた学生時代の中で育ってきたこともあって、時に女性と接する際に間違っただけで行なってしまいます。当施設に来るまでに、2回矯正施設にも入りました。ただ、彼自身がもう同じ失敗をしたくない、また地域で就労をしながら暮らしたいとの思いが強く、私たちもその意に添いたいと思っています。今まで色々大変な思いをしてきたためか、自分を大きく見せたい、自分は頑張っているから大丈夫との気持ちから人からの指摘を上手く聞けない彼。しかし、根は優しいので人に対して気配り上手なところもあり、それを賞賛した際には大いに喜ぶ彼。時にはその思いが強すぎて柔軟性に欠ける行動をしてしまうこともあったりと、上手くいく日もあれば、いかない日もあったりとそんな中で日々接しています。ですので、改まった場でと言うよりは、現状はその場での関係を大事にしていきながら少しずつ学んでいっているであろう彼なのですが、今回のセミナーで学ぶことのできたエッセンスを少しずつでも取り入れていきたいと思っています。そして、その積み重ねが彼の望む生活に繋がるための橋渡しになればと思っています。

2日間のセミナーありがとうございました。



平成26年度第1回理事会報告

平成26年度第1回理事会は、2月14日（金）18:00-21:00 京都メルパークにおいて行われました。この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。
参加理事： 内山、宇山、諏訪、木村、草川、中井、笠合、小川、藤井、丸田、森田、森田、西村、内田、入井、三ヶ田、今村、原崎、五味

議案1. 平成26年度理事および役割の確認

議案2. 平成25年度活動報告

議案3. 平成25年度会計報告、特別会計報告

議案4. 平成25年度各支部事業報告

議案5. 支部助成金事業について

議案6. 第12回実践研究大会 in 大阪 について 〈大阪支部より報告〉

日時： 平成27年 3月7日（土）～8日（日）

会場： 天満研修センター（予定）

テーマ：「あらためて自閉症支援について考える（仮題）」

公開講座：「自閉症の今～脳科学からみた支援のありかた～（仮題）」

講師：京都大学大学院医学研究科人間健康科学系作業療法学講座教授

十一 元三 先生

議案7. トレーニングセミナーについて

ノースカロライナのTEACCH部では、トレーナーの認定制度が始まり、本国のTEACCHの認定トレーナーが2人以上で行うものでなければ、TEACCHのトレーニングセミナーとして認められないことになった。TEACCHプログラム研究会としては、トレーナーを招聘して、トレーニングセミナーを定期的に実施できるようにしたい。

本来、26年度に、大分でトレーニングセミナーを行う予定にしていたが延期して、トレーナーを招聘して開催できるよう、検討していくことになった。

議案8. 広報担当理事の交代、「ぷらう」の編集作業の業者委託について

これまでの、広報の担当（「ぷらう」の記事の集約）であった熊本支部の理事交代に伴い、今年度から、香川支部の西村理事が担当することになった。

編集作業の業者委託も検討したが、これまでご厚意で編集作業を引き受けてくださった丸岡元理事に、続けてお願いすることになった。

議案9. TEACCHプログラム研究会の活動年度について 〈東京支部より提案〉

TEACCHプログラム研究会の活動年度は、1月～12月で行ってきているが、通常の4月～3月までの年度に変更した方が活動を行いやすいのではないかと？

○4月からの活動年度の開始に切り替えた場合のメリット

・施設等の法人で会費を払っている場合、4月の人事異動に合わせて、会費を無駄なく納入できる。

・事業計画を立てる際に、年度の見通しが立ち講師が依頼を引き受けやすい。講師との交渉がスムーズになり、会場を早目に確保しやすくなる。

○上記に切り替えた場合のデメリット

・これまでとの変更のため、切り替えの手続きがいろいろ必要となる。（総会の時期の変更等）

・本来業務が大変な、年度末・年度初めと時期が重なるため、年度の切り替えの事務作業、運営が難しくなる。

*これらのメリット、デメリットを踏まえて、活動年度の変更を行う方が良いか、各支部で話し合い、次回の理事会に意見を持ち寄り検討することになった。

議案10. 平成26年度活動計画(案)

議案11. 平成26年度予算(案)

・コンビニ払いが可能な期間は、今年度は前期4か月にした。後期は1か月、来年度から前期は2か月に設定する。その期限後も、ゆうちょの振り込みは可能。

・会費の請求書の封筒が「土倉事務所」の封筒のため、TEACCH 研の会費とわかりにくいので、TEACCH 研の名入りの封筒を作成し使用することにする。

平成26年度 特別会計予算(案)

・これまで、実践研究大会の運営費、トレセミの運営費等を通常会計に計上していたが、特別会計を「研修会開催のための積立金」として、コラボセミナーの運営費だけでなく、実践研究大会運営費、トレセミ運営費も特別会計から支出する。特別会計への積立てる金額に実践研運営費+トレセミ運営費分の金額を加えることになった。

議案12. 平成26年度総会議案

議案13. 会費未納者・退会等についての名簿との関係 次回検討予定

議案14. 理事のメーリングリストの変更について Google に切り替えることを確認した

議案15. ぷらう50号(2014年春号)について

50号記念になること、記事の分担と発行のスケジュールについて確認された。

議案16. 支部設立内規について 次回検討予定

議案17. その他

1) 事務局担当の順番 次の事務局は平成28年～30年度 熊本支部。

2) 平成25年度第2回理事会の開催日程

平成26年 6月15日(日) 10時～14時 メルパルク京都にて開催することに決定。

平成26年度総会報告

平成26年度の総会は、平成26年2月15日(土) 16:45より、京都染織会館 シルクホールにおいて行われました。

総会では、新理事・役員、および以下の5議案について会員の皆様の承認をいただきました。

* 平成26年度理事および役割 ☆…新理事

支 部	役 割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長・HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
北海道		中村 明美
東京		黒田 美保
神奈川	事務局	五味 純子
山梨		中井百合子
石川		笠合 竜明
愛知		小川 真紀
滋賀		三谷由紀子
京都		丸田富美代
大阪		☆ 森田 隆
鳥取		森田 礼子
香川	広報	西村 健一
福岡		内田 博昭

佐賀		入井 淑圓
大分		三ヶ田智弘
熊本		☆ 下田 祐輝

監事 水野 敦之 氏 (佐賀) 浜田 美波 氏 (大阪)

議案 1 平成25年度活動報告

3月 1日 (金) 平成25年度第1回理事会 (金沢)
 3月 2日 (土) ~ 3日 (日) 第11回実践研究大会 in 石川 (金沢)
 3月 2日 (土) 平成25年度総会
 機関誌『ぷらう』48号 (春) 発行
 7月 7日 (日) 平成25年度第2回理事会
 機関誌『ぷらう』49号 (秋) 発行

- ・ JDD ネットに加入した。
- ・ 理事会、事務局では、会費のコンビニ払いの準備を進め、平成26年度の会費納入からコンビニでの支払いができるようになった。

議案 2 支部助成金事業について

☆平成23年夏の総務委員会で、特別会計の用途の1つとして希望支部より地域普及活動や講演会開催などの有効活用企画を募集し、理事会もしくは総務委員会にて検討の上選考された支部に30万円を上限として使っていただく支部助成金事業を2年間試行実施することになった。

- 1) 平成25年度交付支部：12支部 助成金合計額 2,885,630円
 (京都、滋賀、熊本、佐賀、東京、香川、神奈川、福岡、石川、山梨、大分、北海道)
- 2) 平成26年度以降の助成金事業について2年間の試行期間が終了。助成金のあり方を理事会で検討していきます。
 今年度は、申請期限を定めて申請された中から総務委員会で話し合い交付支部を決めます。
 申請期限は、3月末日まで。

議案 3 平成25年度会計報告

参照：平成25年度会計報告

平成25年度特別会計積立金 会計報告

「実践研究大会、コラボレーションセミナーの会計報告を行う必要があるのではないか」というご意見をいただきました。来年度の総会より、その前の年に開催された、コラボレーションセミナーあるいは実践研究大会の会計報告も、合わせて報告いたします。

〈なお、今回は平成25年度の「第11回実践研究

平成25年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
* 会計年度 平成25年1月1日～平成25年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥2,931,969
会費	¥3,576,000
利息	¥415
合計	¥6,508,384
<支出>	
名簿及び会費管理費 (4450×2253名+4300×256名+51138)	¥1,141,768
理事会交通費(2回分)	¥1,126,625
理事会会議費(2回分)	¥78,245
事務局引き継ぎ費用	¥54,920
JDD入会金	¥30,000
JDD年会費	¥100,000
通信費	¥6,050
HP作成費・管理費	¥99,750
支払手数料(振込手数料)	¥2,460
雑費(事務局用品・コピー・印刷代)	¥117,980
特別会計積立金	¥1,000,000
合計	¥3,757,818
<収支>	
収入 ¥6,508,384	— 支出 ¥3,757,818
= ¥2,750,566	
残金 ¥2,750,566 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成26年2月10日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 原崎 知之
平成26年2月 13日	TEACCHプログラム研究会 会計監査
	水野 敦之 (印)
	木崎 伸子 (印)

平成25年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告	
* 会計年度 平成25年1月1日～平成25年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥8,287,175
一般会計より	¥1,000,000
支部対象助成金返金	¥331,723
利息	¥277
合計	¥9,619,175
<支出>	
支部対象助成金(12支部)	¥2,885,630
第4回講師招聘事業運営費	¥4,500,000
支払手数料	¥6,256
合計	¥7,391,886
<収支>	
収入 ¥9,619,175	— 支出 ¥7,391,886
= ¥2,227,289	
残金 ¥2,227,289 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成26年2月10日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 原崎知之
平成26年2月 13日	TEACCHプログラム研究会 会計監査
	水野 敦之 (印)
	木崎 伸子 (印)

大会 in 石川」の会計報告をこの紙面（23ページ）で報告させていただきます）

議案4 平成26年度活動計画

- 2月14日（金） 平成26年度第1回理事会（京都）
- 2月15日（土）～16日（日） コレボレーションセミナー2014（京都）
- 2月15日（土） 平成26年度総会
- 機関誌『ぷらう』50号（春）発行
- 6月15日 平成26年度第2回理事会
- 機関誌『ぷらう』51号（秋）発行

* 上記以外、必要に応じて総務委員会を開催する。

議案5 平成26年度予算

参照：平成26年度予算

TEACCHプログラム研究会 平成26年度予算	
<収入>	
前年度繰越金	¥2,750,566
会費 (¥2,000 × 2,253名 × 0.7)	¥3,154,200
入会金 (¥1,000 × 200名)	¥200,000
合計	¥6,104,766
<支出>	
名簿及び会費管理費(士会事務所委託費)	¥450 × 2,253名 + ¥300 × 256名 + ¥700 × 30回 + ¥51134)
コンビニ払い委託料(前期)	(¥95 × 1,600名 + ¥16,500 × 4ヶ月)
コンビニ払い委託料(後期)	(¥95 × 300名 + ¥16,500 × 1ヶ月)
通信費	¥10,000
理事会交通費・宿泊費(2回)	¥1,200,000
理事会会議費(2回)	¥100,000
総務委員会交通費(1回)	¥200,000
総務委員会会議費(1回)	¥30,000
ホームページ制作管理費	¥100,000
JODネット年会費	¥100,000
支払手数料	¥10,000
雑費(事務局用品購入など)	¥30,000
特別会計積立金	¥2,200,000
予備費	¥582,704
合計	¥6,104,766

TEACCHプログラム研究会特別会計 平成26年度予算	
<収入>	
前年度繰越金	¥2,227,289
一般会計より	¥2,200,000
合計	¥4,427,289
<支出>	
支部対象助成金	¥3,000,000
実践研究大会2015in大阪運営費	¥500,000
支払手数料	¥10,000
予備費	¥917,289
合計	¥4,427,289

TEACCH研 HPIについて

新しいホームページに変更しましたが、いかがでしょうか？更新が滞っており、大変ご迷惑をおかけします。今後の予定としまして、会員ページに過去のぷらうを順次アップしていきます。25年前に発足したTEACCHプログラム研究会第一号会報もアップします。TEACCHプログラム研究会の歴史を感じられますよ。お楽しみに！！

会員ページへはENTERをクリックした後、アクセス認証画面に下記英数文字を入力し、アクセスしてください。(平成26年5月1日より有効)

USER ID autism
 PASSWORD 2d6tjgk

各支部活動計画

<北海道支部>

1. 会議（支部関係）

場所：北海道発達障害者支援センターあおいそら／函館大学

件名	日時	内容
平成26年度 北海道支部総会	1.12	平成25年度事業報告 決算報告 監査報告 平成26年度事業計画（案） 予算（案）他
第1回運営委員会	2.4	企画研修会について
第2回運営委員会	4.22	企画研修会について
第3回運営委員会	5.20	企画研修会について
第4回運営委員会	6.17	企画研修会について
第5回運営委員会	7.15	企画研修会について・来年度計画について
第6回運営委員会	9.2	来年度計画について・平成27年度総会について
第7回運営委員会	11.18	来年度計画について・平成27年度総会について

※平成27年度支部総会は、H27.1.20（火）開催予定

2. 会議（本部関係）

件名	日時	内容	場所
第1回本部理事会	2.14	平成26年度本部事業及び本部運営について 総会議案について	未定
平成26年度 本部総会	2.15	平成25年度本部事業報告、決算報告、監査報告 平成26年度本部事業計画（案）、予算（案）他	京都シルクホール
第2回本部理事会	未定	未定	未定

3. 勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	1.12（日）	「発達障害～幼児期から青年期を見通した 支援～」 ※オープン参加	こころとそだちのクリニック むすびめ 田中 康雄 氏
第2回	5.24（土） ～5.25（日）	「高齢期の支援（仮）」 ※オープン参加	国立のぞみ学園 志賀 利一 氏

第3回	6.24 (火)	「見てさわってT-TAP (仮)」 ※会員限定	ワークセンターほくと 小黒 康広 氏
第5回	8.26 (火)	「自閉症と医学2014 (仮)」 ※会員限定	ゆうあい会石川診療所 高橋 和俊 氏
第6回	未定	自閉症援助技術研究会との共催企画	未定
第7回	10.4 (土)	「自閉症早期療育最前線 ～ESDM 実践～」 ※オープン参加	大分子ども療育センター 三ヶ田 智弘 氏
第4回	10.28 (火)	「スクールカウンセラーと発達障害 (仮)」 ※オープン参加	教育大学函館校 本田 真大 氏
第8回	11.15 (土)	実践報告会 ※オープン参加	未定

4. 会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	3月上旬	■平成26年度総会報告 ■学習会案内 他
第2報	4月	■ぷらう(本部会報)
第3報	5月下旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第4報	7月下旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第5報	9月上旬	■学習会報告 ■学習会案内 他
第6報	10月	■ぷらう(本部会報)
第7報	11月下旬	■学習会報告 ■総会案内 他

<石川支部>

- ・ 1月19日(日) 第12回 総会
講演会 河野俊寛さん
(東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野特認研究員)
「発達障害のある子の読み書きへの支援について」
場所 金沢市教育プラザ富樫3号館321号室
- ・ 3月16日(日) 9:30~12:00
講演会 梅永雄二さん
(宇都宮大学教育学部特別支援教育専攻教授)
「TEACCHの最新事情&就労にむけて
～青年期に幸せになるために～」
場所 石川県地場産業振興センターコンベンションホール
- ・ 4月20日(日) 9:30~12:30 第61回例会 事例検討会

- 場所 金沢市教育プラザ富樫
- 5月25日(日) 9:30~12:30 第62回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫
 - 6月7日(日) 9:30~12:30 第63回例会
場所 能登、穴水(詳細は未定)
 - 【自閉症連続セミナー「基礎講座～自閉症の理解」】
【第1回セミナー】
7月27日(日) 9:30~12:00
講師 小坂正栄さん(ポーテージ協会石川湖南支部) 「自閉症の理解」
場所 金沢市教育プラザ富樫121号室
【第2回セミナー】
9月7日(日) 9:30~12:00
講師 笠合竜明さん 「コミュニケーション、構造化」
(金沢手をつなぐ親の会知的障害児対象児童クラブ「すずかけ」主任)
場所 金沢市教育プラザ富樫121号室
【第3回セミナー】
10月5日(日) 9:30~12:00
講師 諏訪利明さん(川崎医療福祉大学) 「問題行動への対応」
場所 金沢市教育プラザ富樫121号室
 - 11月未定(日) 9:30~12:30 第64回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫

定員	150名
会費	会員2000円 非会員5000円
事前申し込み必要	

<東京支部>

2014年度事業計画

	日程		講師・発表者	テーマ
	2/9(日)10:30~18:00 淑徳大学池袋サテライト	ワークショップ	澤月子	「新版K式アセスメント講習会」
1	3/21(金)祝 10:00~16:00 オリンピックセンター	定期総会 特別講演会	本田秀夫 新井豊吉	「成人期ではじめて診断された人への支援 ～ASD支援者の役割～」 「特別支援学校での実践から学ぶ ～ASD児への支援を中心として～」
2	4/27(日)10:00~16:30 滝野川会館	基礎講座1	諏訪利明	「TEACCH概要」 「自閉症の学習スタイル」 「構造化」
3	6/21(土)10:00~16:30 未定	基礎講座2、3	中山清司	「評価について」 「コミュニケーションについて」
5	7/26(土)27(日)10:00~17:00 稲城iプラザ	2 Day ワークショップ	黒田美保	「自立課題(ワークシステム)」
6	9/27(土) 未定	事例検討会	未定	「未定」
7	12/6(土) 未定	事例検討会	未定	「未定」

- 会場、時間は、都合により変更することもあります。受講者の方には別途ご案内いたします。
- 最新の研修会情報はメルマガで配信しています。どなたでも登録できますので、ご利用く

ださい。

(TEACCH プログラム研究会東京支部以外の発達障害関係の研修会の案内も配信しています)

お申込み

東京支部 HP の申込フォームもしくは【必要事項】を記入のうえ

メール、FAX からお申し込みください。

【必要事項】：氏名・会員/非会員の別・メールアドレス・連絡可能な電話番号・

保護者/専門職/学生の別

(専門職の方は勤務先と職種、学生は学校名と専攻を明記)

【受講費】：講座の内容によって価格が変更になることがあります。

ワークショップは原則として会員が対象で、参加条件を満たした方のみ申込できます。

	TEACCH プログラム研究会 東京支部会員		非会員 (一般)	
	半日	全日	半日	全日
講演会・基礎講座	1,000 円	1,500 円	3,000 円	5,000 円
事例検討会	100 円		500 円	
ワークショップ	2 万円～		4 万円～	

< 神奈川支部 >

日 時	内 容	ご 案 内
2月15日 ～16日	コラボレーションセミナー2014 「自閉症スペクトラムの人たちの性 ～セクシュアリティ～について」	京都染織会館 シルクホール
3月27日(木) 19:00～20:30	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会 【報告】「ノースカロライナからの風Ⅱ」 講師 諏訪 利明	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
4月20日(日) 14:00～16:30	【講演会】「自閉症の学習スタイルとは？」 講師 安倍 陽子氏 (横浜市東部地域療育センター)	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
5月23日(金) 19:00～20:30	【実践報告】「テーマ未定」 発表者 原崎 知之 (わかばケアセンター)	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
6月27日(金) 19:00～20:30	【実践報告】「テーマ未定」 発表者 山田 兼右・川井 赴彦 (松風園)	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
7月18日(金) 19:00～20:30	【講義】「アセスメントについて part1」 講師 宇山 秀一	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
9月19日(金) 19:00～20:30	【講義】「アセスメントについて part2 インフォーマルアセスメント」 講師 深水 綾	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
10月24日 (金) 19:00～20:30	【講義】「アセスメントについて part3 コミュニケーションサンプル」 講師 五味 純子	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
11月23日 ～24日	【2DAYS トレーニングセミナー (予定)】 ●会員限定企画	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム
12月19日 (金) 19:00～	【講演会】「自閉症の支援について思うこと」 講師 諏訪 利明	ユニコムプラザさがみはら セミナールーム

20:30		
-------	--	--

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。
 ※基本の研修会については、**参加費 会員 200 円、非会員 1,000 円**です。2DAYS トレセミ、講演会等については詳細が決まり次第お知らせいたします。
 ※なお、今年度につきましては会場設営がありません。参加費無料券の配布は終了いたします。
 なお、現在お持ちの無料券につきましては、ご使用いただくことができます。ご了承ください。

ユニコムプラザ さがみはら (bono 相模大野 サウスモール 3 階)
 〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野 3 丁目 3 番 (小田急「相模大野」駅北口を出て徒歩 3 分)

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
 〒242-0021 神奈川県大和市中央 5-2-31 青柳ビル 1F
 やまと発達支援センターWANTS 内 宇山
 【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-262-3232
 【e-mail】 teacchkanagawa@yahoo.co.jp

◆TEACCH プログラム研究会ブログ (日程変更・活動報告等の最新情報はブログでご確認ください)
<http://teacch-kanagawa.blogspot.jp/>

＜愛知支部＞

月	日	支部主催の事業・内容・講師	会報の発行	総会、世話人会など
1 月	12 日 (日)	講演会 「自閉症の特性を理解して実践にいかすには？」 講師：寺尾孝士氏 (川崎医療福祉大学 教授)	会報発行	12 日 総会・世話人会
2 月				
3 月				16 日 世話人会
4 月	19 日 (土)	定例会 (会員限定・インシデントプロセス法を使って事例検討) 講師：小野 宏氏 (豊田西病院)		
5 月				
6 月	22 日 (日)	演習「TTAP」 講師：中山清司氏 (自閉症 e サービス 代表)		1 日世話人会
7 月			会報発行	
8 月				
9 月	未定	定例会 (会員限定・インシデントプロセス法を使って事例検討) 講師：小野 宏氏 (豊田西病院)		

10月	19日 (土)	講演会 「基礎から学ぶTEACCHプログラム」 講師：諏訪利明氏		
11月	未定	実践報告会 助言者：未定		
12月				

＜山梨支部＞

今年度は、引き続き発達障害やTEACCHについて基礎的な知識の習得に努めることに加え、会員が現場で抱えている問題に注目し、状況共有や対応策に関する知見の交換を行うことにより会員相互の実践的な解決力を高めていくことを志向したい。

具体的な活動としては、例年行う二回の講演会、勉強会、トレセミ派遣に加え、昨年度好評だった視察やトレセミ参加者を対象としたフォローアップ研修を行う予定である。

【運営会議】

件名	日時	内容
第1回運営委員会	2月2日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度活動計画について ・活動の周知について ・総会準備
総会	2月2日(日)	総会
第2回運営委員会	4月	
第3回運営委員会	6月	講演会準備
第4回運営委員会	9月	
第5回運営委員会	12月	総会準備

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
第1回 講演会	7月6日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ● TEACCH 基礎講座Ⅷ (詳細未定) 講師 宇都宮大学教授 梅永雄二先生
トレセミ派遣 (1名)	3月1日(日)～4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ● 川崎医療福祉大のトレセミへの会員 (県内幼稚園教諭) 派遣
研修	未定	<ul style="list-style-type: none"> ● 京都コラボレーションセミナー ● トレセミ研修参加者を対象に、現場での問題点をテーマとしたフォローアップ研修
第2回 講演会	12月14日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ● TEACCH 基礎講座Ⅹ (詳細未定) 講師 川崎医療福祉大学准教授 諏訪利明先生
施設見学	未定	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内施設を予定

自主勉強会	月1回程度の頻度で 開催予定	● 会員相互の勉強会
-------	-------------------	------------

＜滋賀支部＞

I.例会【冰山モデルから行動を理解する～事例報告と検討会】

昨年度に引き続き、「冰山モデルから行動を理解する」をテーマに、冰山モデルをもとにした「事例検討会」と「実践報告会」を交互に行います。

事例検討会では「困った行動」の水面下を掘り下げ、どのような取組みが出来るのかを共に考え、実践報告会では具体的な実践を通して理解を深めます。例会を通して、自閉症の人たちの行動を理解し、取組みを考えていく力を磨きましょう。

- ① 4月 25日（金）事例検討会「学齢期」
この日は午後8時30分より総会を開催します。
- ② 5月 23日（金）実践報告「小学部低学年の実践」 八日市養護学校 小林真澄氏
- ③ 6月 27日（金）事例検討会「幼児期」
- ④ 9月 26日（金）実践報告「高等部での実践」 三雲養護学校 竹内佳緒里氏
- ⑤ 10月 24日（金）事例検討会「学齢期」
- ⑥ 11月 28日（金）実践報告「支援学校から地域生活への移行支援」
ほっとステーション 宇野淳子氏

◇時 間：午後7時～8時50分 ◇場 所：コミセンやす

※入場には裏口（鉄扉）からお入りください。

◇参加費：会員無料、会員外は1回500円 ◇申し込み：不要、単発参加も可能

II.講演会【自閉症の特性理解と支援の基本（仮題）】

◇日 時：7月13日（日）午後1時30分～4時30分

◇講 師：服巻 智子先生

◇場 所：G-NETしが（男女共同参画センター）

◇参加費：会員無料、会員外1,000円

★例会内容、日時の変更、台風などによる中止のお知らせは、TEACCH 研滋賀支部ブログ (<http://blog.goo.ne.jp/teacchshiga>)にてお知らせします

＜京都支部＞

2014年度の講演会及び、例会の日程は下記のようにしております。

どうぞ、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時	講師(話題提供者)	所属	タイトル・内容
1/18（日）終了 14:00～16:00 ハートピア京都 第4会議室	自閉症啓発 キャラバン隊 Swing	岡崎キャラバン隊	「自閉症ってこーなんです！」 なんでそんなことするの？ なん でそんなこと言うの?? なん で？ なんで？ なんで？ 講演では、自閉症の人たちの見 え方、聞こえ方、感じ方を体験す ることができます。

2/15(土) 10:00~16:30、 2/16(日) 9:30~15:30 京都染織会館 シルクホール TEACCHコラボレーションセミナー2014 自閉症スペクトラムの人たちの性~セクシュアリティ~について 1日目: 講演 自閉症スペクトラムの人たちの性~セクシュアリティ~について (マリー・バーガディン博士) 2日目: 実践報告とディスカッション 終了			
5/17(土) 13:30~16:30 京都社会福祉会館	永井 良和さん	ピープルファースト京都 支援者(元京都市教員)	障害者差別解消法をわかりやすく学ぼう ~発達障害者と障害者差別解消法の関わり~
7/12(土) 13:30~16:30 京都社会福祉会館	山本 洋子さん	京都市発達障害者センター 一かがやき	「スケジュールの大切さ~事例報告から考える~」
9/6(土) 13:30~16:30 京都社会福祉会館	野畑 光代さん	京都府立向が丘支援学校	「学校教育~教室をのぞいてみれば...~」
11/8(土) 13:30~16:30 京都社会福祉会館	赤松 隆滋さん	Peace of Hair (ピースオブヘア)	星髪戦士ピースマン 「星髪戦士ピースマン スマイルカット活動」

※ 例会の開催場所は、昨年と同様、京都社会福祉会館です。

(〒602-8143 京都市上京区堀川通り丸太町下る(二条城北側) TEL 075-801-6301)

＜大阪支部＞

テーマ「TEACCHの理念を活かした実践を学びあう」

月日 (曜日) 時間	支部主催の事業・内容・講師	会場	会報の発行	総会など
1月		堺市民会館		運営委員会
4月			年間講座予定表郵送	
5月31日 14:00 (土) ~ 16:30	公開講座 「TEACCHの理念」 講師 内山 登紀夫 氏 (福島大学 教授)	大阪府社会福祉会館	いまあじゆ発行	公開講座終了後、総会運営委員会
6月14日 14:00 (土) ~ 16:30	月例会 「構造化の実際」	大阪府社会福祉会館		運営委員会

7月19日 (土)	14:00 ～ 16:30	特別講座 「評価について」 講師 新澤 伸子 氏 (梅花女子大学 特任教授)	大阪府社会 福祉会館		運営委員 会
9月13日 (土)	14:00 ～ 16:30	特別講座 「余暇支援について」 講師 水野 敦之 氏 (児童発達支援センターぐるんぱ 総括ディレクター)	大阪府社会 福祉会館		
10月13日 (月・祝)	14:00 ～ 16:30	特別講座 「自閉症の行動理解と支援」 講師 重松 孝治 氏 (川崎医療短期大学 講師)	大阪府社会 福祉会館	いまあじゆ 発行	
11月16日 (日)	14:00 ～ 16:30	公開講座 「コミュニケーションについて」 講師 諏訪 利明 氏 (川崎医療福祉大学 准教授)	堺市福祉会 館大研修室		運営委員 会
12月20日 (土)	14:00 ～ 16:30	月例会 「構造化の実践報告」	大阪府社会 福祉会館		運営委員 会

★参加費 研究会会員 無料 会員の家族 無料 学生(学生証提示で)無料
非会員 1000円

＜鳥取支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催、後援事 業・内容
1月				
2月	11	12:00～ 15:00	【幹事会】	
3月	28	19:00～ 20:30	【境港定例会】 総会報告 佐々木正美先生DVD・鳥取トレセミ DVD視聴	
4月				
5月				
6月	27	19:00～ 20:30	【境港定例会】 WISCIV 研修報告	
7月				
8月	中旬 の休日 (未定)	13:30～ 16:00	【県全体研修会】(支部助成金事業の予定) 『自閉症診断にまつわるエトセトラ』 黒田 美保 氏	

9月				
10月	24	19:00～ 20:30	【境港定例会】 高山 恵子氏 研修報告	
	未定	13:00～ 15:00	【県全体研修会】 WISCIV 研修報告 井口 妙子 氏	
11月				
12月	26	19:00～ 20:30	【境港定例会】 反省会と現場の現状報告	
	中旬 の休日 (未定)	13:00～ 15:00	【県全体研修会】 強度行動障害研修報告 信原 和典 氏	

定例会：毎月第4木曜日場所 境港市児童発達相談センター 陽なた

<香川支部>

2014年の講演会及び例会の日程は下記のようにしております。

日時	テーマ	講師
3月16日	香川支部総会 生活を豊かにするアイデア ～就労支援と生活支援～	草原 比呂志 氏 (あじの里地域生活支援センター)
4月20日	自閉症教育の最前線	坂井 聡 氏 (香川大学教育学部教授)
5月18日	巣立ちのサポートブック ～子離れのためのアイテム～	丸岡 玲子 氏 (NPO法人ふぁみりい NOTE)
6月15日	タブレットやスマートフォンの活用アイデア	近藤 創 氏 (香川県立善通寺養護学校)
7月20日	TEACCHの基本について	西村 健一 氏 (香川県立高松養護学校 小豆分室)
9月13日	【公開講演会】 自閉症の特性を理解した震災時の支援 ～これからくる南海地震に備えて～	宇山 秀一 氏 (社会福祉法人県央福祉会 県央療育センター<神奈川県>)
10月19日	卒業後の豊かな生活のために小中高の各ラ イフステージで取り組んでおきたいこと～ キャリア教育の視点より	藤田 明 氏 (前 香川支部理事)

11月16日	実践発表～特別支援学校での取り組み～	高原 淳一 氏 (香川大学教育学部附属特別支援学校)
12月21日	座談会： 「自閉症への支援 Q&A ～繪内Dr.を囲んで～」	繪内 利啓 氏 (えないメンタルクリニック)

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※ 9月の公開講演会については、詳細が決まり次第ホームページにてお知らせいたします。

※ 予定を変更した場合は、ホームページにてお知らせいたします。

＜福岡支部＞

日時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会場
3月	ODVD上映会案内状送付		
4月12日(火) 18:3～20:00	ODVD上映会(自閉症の人が求める支援) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付・ ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
5月10日(土) 13:3～16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告： 報告者：募集	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
6月10日(火) 18:3～20:00	ODVD上映会(自閉症の人が求める支援) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
7月12日(土) 13:3～16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告： 報告者：募集	緒方よしみ氏 (福岡市発達障がい者支援センター)	西南学院大学
9月9日(火) 18:3～20:00	ODVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
10月11日(土) 13:3～16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 実践報告： 報告者：募集	納富恵子氏 (福岡教育大学)	西南学院大学
11月11日(火) 18:3～20:00	ODVD上映会(未定) ○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ ぷらう送付	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
12月13日(土) 13:3～16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 記念講演 (タイトル未定) 講師：未定 ○平成26年度総会	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集します。
 ※日時、アドバイザー、会場については予定であるため、変更される場合もあります。

＜佐賀支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報発行	総会など
1月	17日	9:30 ～ 11:30	定例学習会「行動について」 講師 肥前精神医療センター 中山政弘 氏 会場 佐賀文化会館 大会議室			支部総会
2月	8日 9日	① 9:45 ～ 17:30 ② 9:30 ～ 17:00	PECS ワークショップ 講師 ピラミッド・ジャパン代表 今本 繁 氏 会場 サンメッセ鳥栖 本部助成金事業	主催:佐賀支部、佐賀県発達支援センター結 共催:佐賀県自閉症協会		
3月	15日	9:30 ～ 11:30	定例学習会「事例報告会」 講師 NPO法人それいゆ 佐賀地域支援センター 黒木あさ美 氏 会場 佐賀文化会館 大会議室			理事会報告
4月	26日	10:00 ～ 12:00 9:30 受付	講演会「地域で暮らす～自閉症スペクトラムの人へ必要な支援とは～(仮)」 講師 佐々木 正美 氏 会場 武雄市文化会館 小ホール チケット代金500円			
5月	17日	9:30 ～ 11:30	定例学習会「IEPについて」 講師 うれしの特別支援学校 瀬尾裕子 氏 会場 佐賀文化会館 大会議室			
6月	21日	9:30 ～ 11:30	定例学習会「診断について」 講師 肥前精神医療センター 佐川陽子 氏 会場 佐賀文化会館 大会議室			
7月	未定		公開講演会		ぷらう 送付	
9月	未定	9:30 ～ 11:30	定例学習会「移行支援」 講師 未定 会場 未定			理事会報告

11月	未定	9:30 ～ 11:30	定例学習会「構造化」 講師 オーティズム・リサーチ& コンサルタンシー 服巻智子 氏 会場 未定			代表者会
11月	未定	9:30 ～ 11:30	定例学習会「コミュニケーション」 講師 オーティズム・リサーチ& コンサルタンシー 服巻智子 氏 会場 未定			
12月	未定		未定		ぷらう 送付	

＜大分支部＞

月	日	時間	本部および支部の事業・内容・講師	総会・ 支部理 事会等
1月	26日	13:00～ 16:00	中山清司先生講演会（会場：大分こども発達支援センター）	年次 総会
2月	15・ 16日		コラボレーションセミナー in 京都	
3月				
4月				
5月	未定		基礎講座①「発達障害を理解する&構造化について」	支部 理事会
6月	27日	19:00～ 21:00	今本繁先生講演会（会場：大分こども発達支援センター（予定））	
7月	19日	調整中	佐々木正美先生講演会（会場：未定）	
8月				
9月	未定		基礎講座②「行動療法について」	支部 理事会
10月	未定		基礎講座③「その他の支援アイデアについて」	支部 理事会

11月	8日	10:00～ 16:00	加藤潔先生講演会（会場：大分こども発達支援センター（予定））	
12月	6日	10:00～ 16:00	村松陽子先生講演会（会場：大分こども発達支援センター（予定））	支部 理事会

※基礎講座①～③は大分こども発達支援センターにて三ヶ田が実施予定

＜熊本支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	会報の発行	総会、 世話人会など
1月	25日	12時 30分 ～ 16時 30分	（総会） 平成26年度熊本支部総会 （講演会） 「自閉症の学習スタイルと学習支援」 講師 中山 清司 氏（オフィスぼん代 表 天才塾 bon 塾長）		総会 世話人会
4月	19日	13時 30分 ～ 16時 30分	（基礎講座Ⅰ） 1 「DSM-5 と CARS2 から見た自閉症の特 性」 講師 山田 みどり（熊本県こども総合療 育センター） 2 「TEACCH プログラムについて」 ～2013 ノースカロライナ TEACCH 視察 研修を通して～ 講師 橋口 美代子（自閉症スペクトラム 支援センター にじ）	会報 野の花発 行予定	世話人会
7月	19日	13時 30分 ～ 16時 30分	（基礎講座Ⅱ） 「構造化について」 ～2013 ノースカロライナ TEACCH 視察 研修を通して～ 講師 山田 みどり（熊本県こども総合療 育センター）		世話人会
10月	18日		（実践報告会予定） 内容未定 ※開催日についても変更になることがあり ます。		世話人会

第 12 回 TEACCH プログラム研究会 実践研究大会 in 大阪 2015

1. 日 程 平成 27 年 3 月 7 日 (土) 1300 ~ 8 日 (日) 1300
2. 会 場 天満研修センター (JR 天満駅より徒歩 2 分)
<http://www.temmacenter.com/tenma/index.html>
3. 大会テーマ 「あらためて自閉症支援について考える (仮題)」
4. 参加予定人数 200 名
5. スケジュールと内容
3 月 7 日 (土) 午後 【公開講座】
「自閉症の今～脳科学からみた支援のありかた～ (仮題)」
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系作業療法学講座
教授 十一 元三 先生

- 3 月 8 日 (日) 午前 【分科会】
実践報告とケース検討会
- ① 幼児期
 - ② 学齢期
 - ③ 成人期
 - ④ 自閉症支援

6. 参加費 5000 円程度
(予定)

詳細は、秋に配布するチラシまたは
ホームページをご覧ください。
申し込み方法もその際にお知らせ
いたします。お見逃しなく！

実践研究大会 in 石川の
会計報告です

第11回 TEACCHプログラム研究会 実践研究大会 in 石川2013 会計報告

収入	決算	備考
本部より補助金	500,000	送金
参加費	670,000	5,000円×134名=670,000円
	1,170,000	

懇親会費	480,000	6,000×80=480,000
------	---------	------------------

	1,170,000	
	480,000	
収入合計	1,650,000	

支出	決算	備考
講師謝金	80,000	ニキさん、松本さん
講師旅費宿泊費	26,000	ニキさん
講師飲食	4,074	ニキさん、松本さん
会場費	268,850	石川県文教会館
会場費(設営費)	66,360	金沢舞台(垂れ幕等、人件費・50,000円)
実行委員昼食	25,008	大会両日
実行委員飲物	4,356	大会両日
実行委員会議費	63,500	交通費等
実行委員旅費・宿泊費	63,980	駐車場、倉庫兼事務所(東横in2泊)等
印刷費	152,170	パンフレット、名札、レジユメ
受付業務	10,900	参加登録100円×109人、営業管理費
郵送費	16,680	登録90円×102人、パンフレット500円×15人
消耗品費	16,895	文具
雑費	12,584	消費税、振込手数料
予備費	332,143	本部返金(331,723円)+手数料(420円)
	1,143,500	

懇親会費	506,500	
------	---------	--

	1,143,500	
	506,500	
支出合計	1,650,000	